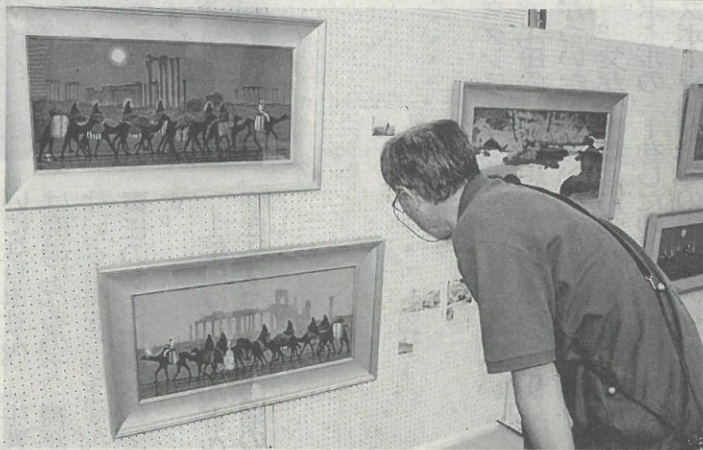


平山郁夫さん
複製画を40点

あすまで七尾

仏教やシルクロードを題材にした作品を多く描いた日本画家・平山郁夫さん(1930~2009)の複製画展が、七尾市中島町中島の市中島文化センターで開かれている。

平山さんは広島市の修道中3年の時、学徒動員先で被爆。「平和への祈り」をテーマに世界の文化交流の道を歩き、ユネスコ親善大使として世界平和に尽力した。



平山郁夫さんの代表作の複製画が並ぶ会場
—七尾市中島町中島の市中島文化センターで

作品展は、絵画の企画販売会社「ほろぷエアンドアイ」(大阪)の府校方市の主催。代表作の「パルミラ遺跡を行く」「流沙浄土

変」「葉師寺」など約40点の複製画を展示している。会場では展示品や画集、絵はがきを販売し、収益の一部を日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援基金」に寄付する。

会場を訪れた七尾市中島町古江の無職、国府一博さん(70)は「著名な画家の作品が地元で楽しめるのはありがたい」と目を凝らしていた。

9日まで、無料。問い合わせはほろぷエアンドアイ(072・805・0595)。

【石川将来】

◆平山郁夫氏の作品並ぶ

日本画家で文化勲章受章者の故平山郁夫氏の作品展は6日、七尾市中島文化センターで始まり、版画約40点が並んだ。作品は販売され、収益の一部は東日本大震災子ども支援基金に寄付する。9日まで。